

## アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2008/07/21 駐在員：宮村 佐衣子

### 【ミシガンのコーヒーショップ】

ミシガン州のあちこちに、「BIGGBY COFFEE (ビッグバイ・コーヒー)」というコーヒー店があります。街をドライブすると、右のマークをよく見かけます。



「BIGGBY COFFEE」(数年前まで BEANER COFFEE という店名でしたが、BEANER がスペイン語で差別的な意味を持つことから現在の名前に変わりました。)は、ミシガン州のイースト・ランシングに拠点をおくコーヒー・チェーン店です。

ミシガン州立大学の卒業生が開業して、わずか13年の間に急成長し、今では7州に1,450人の従業員を置くまでになりました。今週火曜日(7月15日)には第100号店がオープンしたことが地元新聞紙「ランシング・ステート・ジャーナル」に掲載されました。



ROD SANFORD/Lansing State Journal

**Growth:** Mary Roszel (from left), Mike McFall and Bob Fish are co-founders of Biggby Coffee, which opened its 100th store Tuesday in Bloomfield Hills.

アメリカで一番大きなコーヒー店は、日本でも有名な「STARBUCKS COFFEE (スターバックス・コーヒー)」で、全米に11,000以上店舗があるそうですが、ミシガン州のランシングでは、「BIGGBY COFFEE」におされたのか、市内3店舗の閉鎖が決まりました。

ちなみに、注文する時、「『レギュラー』か『ディ・カフェ』か」と聞かれます。『ディ・カフェ』とはカフェイン抜きコーヒーのことで、例えば、カフェラテを注文する場合でも、カフェイン有にするか無にするか選択できます。日本でも妊婦向けの雑誌で一部紹介されており、注文できるコーヒー店もあるようです。



また、「オーバーアイス」という冷たいコーヒーもあります。

\*左・右上写真は、ランシングの地元紙「ランシング・ステート・ジャーナル」7月16日付より。

\*右下写真は、商品画像の一部を拡大して掲載。